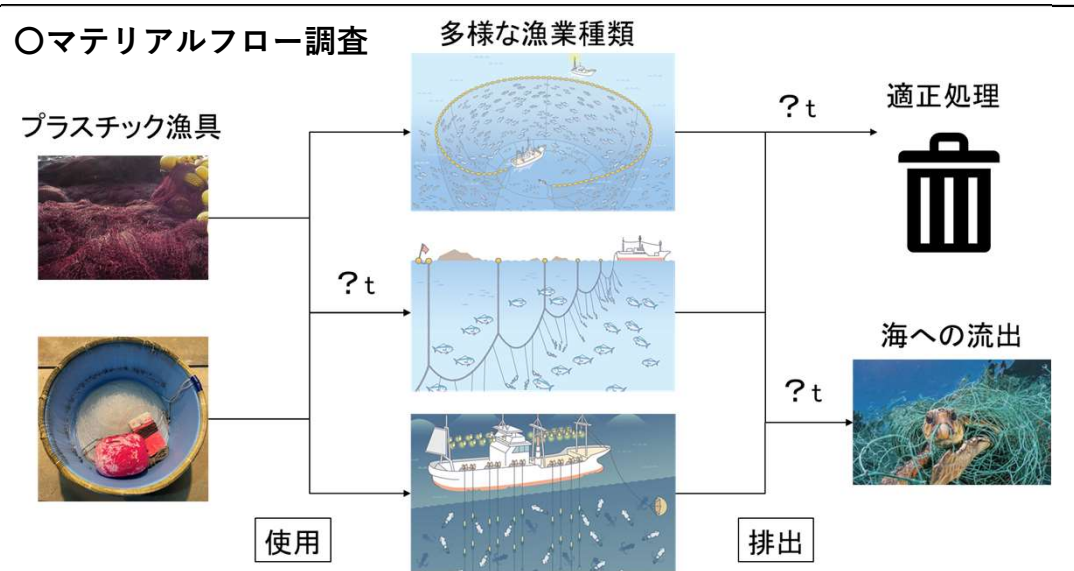


漁船漁業で使用されるプラスチック漁具の マテリアルフロー推定に関する研究



○漁獲から流過程を含めたプラスチック量の調査



○漁業従事者との協働による調査



研究概要

- ・漁業活動と海洋プラスチックは相互に絡み合う切り離せない問題である。漁業を通じた海洋プラスチックの流出抑制を最大の目的として、未だ不透明な部分が多い漁網や釣り糸等のプラスチック漁具が海洋流出する実態を詳細に把握することを目指している。
- ・漁獲から流通、そして販売を経て消費者に届くまでの全体を通して必要なプラスチックの量や種類について調査を行っている。それにより、従来あまり議論されてこなかった販売（小売り）の前段階で使用されるプラスチックについても考えるきっかけとなり、今後の省プラスチック対策の指針となるデータを得ることを目指している。
- ・本研究は福岡県や長崎県をはじめとした様々な漁港や漁業協働組合、そして漁業従事者のもとへ実際に足を運び、漁業に係る多くの方々の協力により調査を行っている。
- ・漁業活動の中でプラスチック漁具が意図せず流出してしまうことがあるのは事実だが、多くの漁業従事者は漁具の流出について注意して操業されており、今後も研究者と漁業従事者が協力して海洋プラスチック問題の解決に向けて取り組む必要があると考えている。